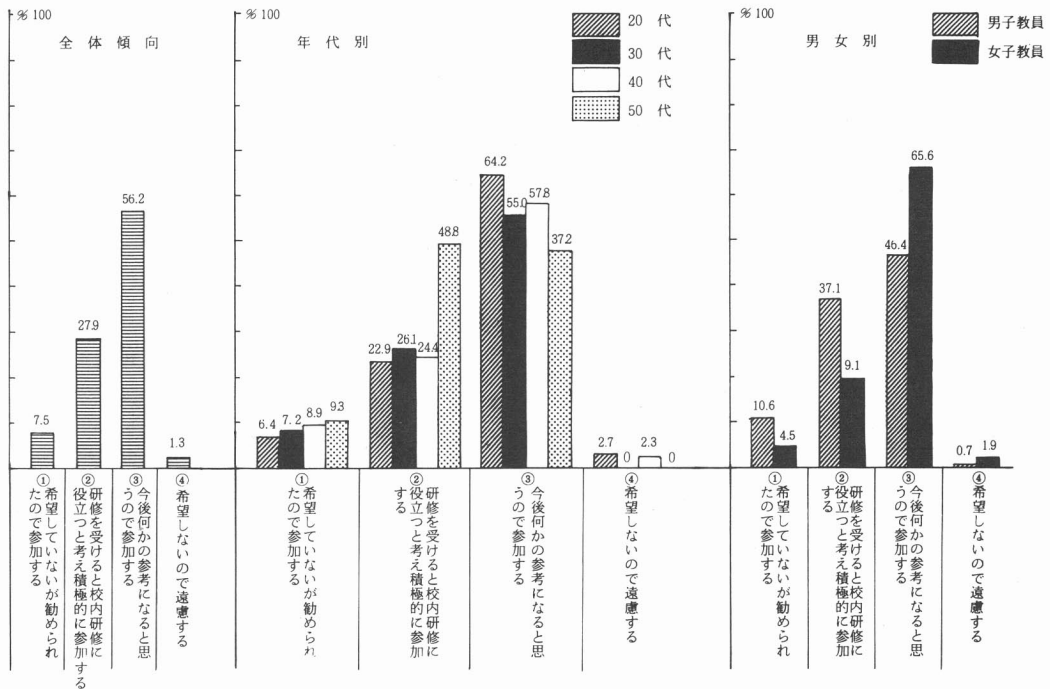


校外研修参加を勧められた時の個人の研修意欲

問15 あなたは、教頭から校外研修に参加するように勧められたとき、どうしますか。

図-6

N = 308



＜考察＞

全体的にみると、校外研修参加を勧められ積極的に研修しようとする②の「……積極的に参加……」は約28%で、③の「参考になると思うので参加……」は約56%である。これに対して、①の「希望していないが勧められたので参加……」は約8%で、④の「希望しないので遠慮する」は約1%である。①と④への回答は少ないが、研修参加の意欲をみるとき無視できない実態といえよう。このようなことから、研修参加への積極的な意欲は多くみられるが、消極的な態度も少数ではあるがみられるといえる。

特に①について年代別にみても、20～50代は、約6%、約7%、約9%、約9%で、ほとんど差異は認められないが、わずかに年代が高くなると増加していく傾向がみられる。

更に男女別にみると、男子教員が約11%、女子

教員が約5%で、男子教員が多いことがわかる。

このような問題点の要因には、校外研修についての認識が低く、直接的にかかわる研修だけが大切であると考えていること、広く研修の場を内外に求めて、研修を深めようとする意欲が不十分であること等が、主として考えられる。

この問題点を改善するには、

- 教師生活全体を通して、広く研修することの大切さを自覚する機会を多様に設けること。
 - 直接分掌にかかわらない研修でも、伝達の方法などを工夫して、共有できるようにすること。
 - 分掌外の研修でも、研修内容を累積して相互啓発が行えるような機会を配慮すること。
 - 研修成果の活用方法を、校内研修全体の中に位置づけ、自己啓発的に共に研修し合える機会の設定を工夫改善すること。
- などが考えられよう。